

コード	401030802
記入日	H26.6.6

課コード	116
課名	水産課
課長名	石司 泰栄
担当者	濱崎 義高

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	漁村再生交付金事業（漁港施設整備事業）
----------	---------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 24 年度 ～ 平成 28 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	4
事務事業コード	4010308	事務事業名称	国庫補助事業費（漁村再生交付金）	細目コード	1051
関連計画		法令・条例規則等	漁港漁場整備法		

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 組合員		(対象指標1)	721人			
(対象2) 利用漁船（属人）		(対象指標2)	176隻			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画・小串漁港) ・浮桟橋設置により安全な漁船の護岸、陸揚げが容易にできる。また、-2.0m物揚場の前だし整備により、漁獲物の選別、箱詰め時間の短縮を図る。 →H24 調査設計 1.0式 →H25 物揚場改良 L=76m →H26 浮体式係船設置 L=45m →H27 臨港道路 L=48m →H28 浮桟橋設置 1.0基	(平成25年度) ・-2.0m物揚場（浮体式係船岸45m）の改良と消波ブロック等の製作を行った。	① 漁港施設整備	20.9%	20.9%	実施事業費÷計画事業費	平成28年度
		② 漁港施設整備	13.0%	100%		平成25年度
		(達成率分析)	事業計画どおり進捗している。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 漁業就労環境の改善	-	-	-	平成28年度
		(達成率分析)	本事業により、漁業就労活動の環境改善、効率性、安全確保が図られる。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		24年度以前	25年度		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① %	100	20.9	7.9	13.0	13.0	26.1	19.1	33.9		
	②										
成果指標	①										
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	467,501	58,417	39,840	18,577	18,577	173,500	193,500	42,084		
直接事業費 A	千円	450,001	51,417	36,340	15,077	15,077	170,000	190,000	38,584		
人件費 B	千円	17,500	7,000	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500		
内 従事職員数	人	2.5	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財源内訳	国補助金	千円	273,634	34,484	25,438	9,046	9,046	102,000	114,000	23,150	
	県補助金	千円									
	起債	千円	176,300	16,900	10,900	6,000	6,000	68,000	76,000	15,400	
	その他	千円									
一般財源	千円	17,567	7,033	3,502	3,531	3,531	3,500	3,500	3,534		

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	本漁港では、岸壁、物揚場において陸揚げ、準備作業を行っており、干潮時には潮位差が激しく陸揚げ作業に重労働を強いられ、漁船への乗り降りも危険を伴い漁業活動に支障をきたしている。また、物揚場背後用地が狭いため陸揚げした漁獲物の選別、箱詰め、輸送に支障をきたしている。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	計画的整備により浮体式係船岸 4.5mの完成し利用され、漁業活動の安全と安心が確保されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	漁業活動の活性化により、漁業者の意識の向上が図られる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	長崎県の標準歩掛により実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	国庫補助事業により実施しているため。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	漁業協同組合と協議した整備計画となっており意見等を反映させている。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	本事業は、漁業就労活動の環境改善、作業の効率性及び安全・安心を確保が図られるもであり、本町の基幹産業である水産業の振興に資するものである。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。